



整理収納アドバイザー 佐藤 江理子 の

快適! くらしの 整理収納術

Profile

1974年酒田市出身。酒田市内の住宅会社勤務を経て2008年に独立。現在酒田市ゆたかの株佐藤江理子 建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。



片付けの専門家「整理収納アドバイザー」ならではの、目からウロコの収納アイデアで片付かない原因にチェックメイト! いつでも始められる手軽な収納術を厳選して紹介します。

にぎやか、煩雑もOKなキッズ空間

今回は小学校低学年までの子どもの多すぎるおもちゃがターゲットです。自分の部屋を持つ前の子どもたちは、リビングや茶の間のいたる場所でおもちゃを散らかしてしまいがち。でも、キッズスペースがあれば、散乱したおもちゃが1カ所にまとまり、片付けの習慣も身につきます。ただし、片付けすぎは親も子どもも互いにストレス。細分化した片付けはこのくらいの子どもにはまだ難しいものです。

《STEP1・キッズスペースの設置》 おもちゃは全部この中に!



イメージ

カラーボックス2個とコルクボード1枚を部屋の一角に設けるだけで、キッズスペースは簡単に作れる。ここは「子どもが自由に使える空間」。おもちゃは全部この中に収めよう。子どもも自分のおもちゃの居場所に関心を深めていく。キッズスペースに置くおもちゃは子どもの成長に合わせて定期的に片付け、増えすぎないように整理しよう。

《STEP2・片付け上手の芽を育てる》 自分で“簡単に楽しく”できる認識を



子どものお気に入りの作品やおもちゃでキッズスペースを飾り付け。愛着も倍増する

子どもが自分で片付けられるよう、おもちゃは棚やカゴに、絵本も表紙が見えるようにざっくりと入れるだけ。子どもの描いた絵も、手作り作品も自由に飾り付けて。まずは、片付けが簡単で楽しいと、覚えてもらうことが大事です。兄弟がいるなら個別にテーマカラーを設けることで、モノの所有者に対する関心が深まっていく。